

東海地区レベル向上活動

「交通安全講習会」及び「トヨタセーフティセンス体感プログラム」を開催

～トヨタ交通安全センター 「モビリタ」～

協豊会東海地区は7月に世界文化遺産「富士山」の麓、富士スピードウェイ内にあるトヨタ交通安全センター「モビリタ」において、東海地区のレベル向上活動として「交通安全講習会」と「トヨタセーフティセンス体感プログラム」を開催した。

「モビリタ」での「交通安全講習会」は一昨年、東海地区幹事・総務委員が参加し、更に昨年は東海地区会員会社から多数の各社代表者などが参加され、ともに大きな感動と好評をいただいたため、今年度は東海地区会員交通安全担当役員クラスへ参加のご案内をしたところ、100名近い応募をいただき、7月3日（金）を皮切りに、7月7日（火）、10日（金）、17日（金）、の都合4回にわたって開催し、梅雨空の悪天候の日があったにもかかわらず参加者は高い関心をもって講習会に臨んだ。

講習は、午前中は「交通安全死傷者ゼロ」を究極の目標として業務展開している「モビリタ」のチーフ・インストラクターによる講義を行い、その後車両死角確認から始まり、慣らし運転を実施した。午後より新型カロラの展示紹介をはさみ、超高速からのフルブレーキ回避操作とその際のABS（Antilock Brake System・・タイヤをロックさせない装置）の働きの確認、また雪道を想定した低ミュー路面の走行ではABSに加え、VSC（Vehicle Stability Control・・横滑り防止装置）とTRC（TRaction Control・・タイヤ空転防止装置）の働きにより車両の動きが制御されることなどを体感し、改めて最新安全装置の素晴らしさに感嘆の声が上がった。

また今年度は、トヨタ自動車国内業務部殿のご配慮により、トヨタ自動車の予防安全パッケージ「トヨタセーフティセンス体感プログラム」を実施し、実際に衝突回避支援・軽減を図る「プリクラッシュセーフティ」搭載のトヨタ車両に乗り、時速30kmからの衝突回避を、自らの運転で体験した。



視界確認



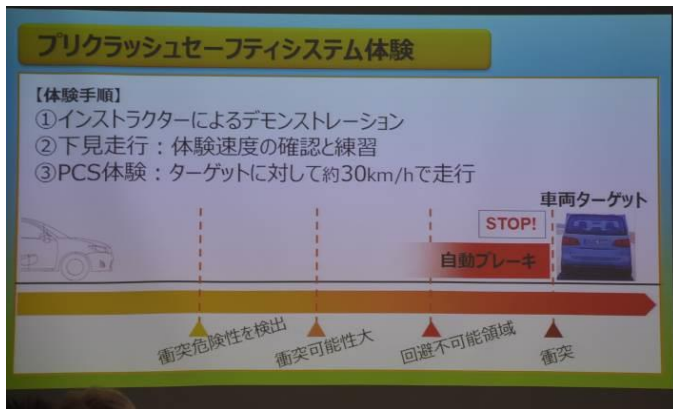
安全講習スタンバイ



高速フルブレーキ実習



低ミュー路での走行体験



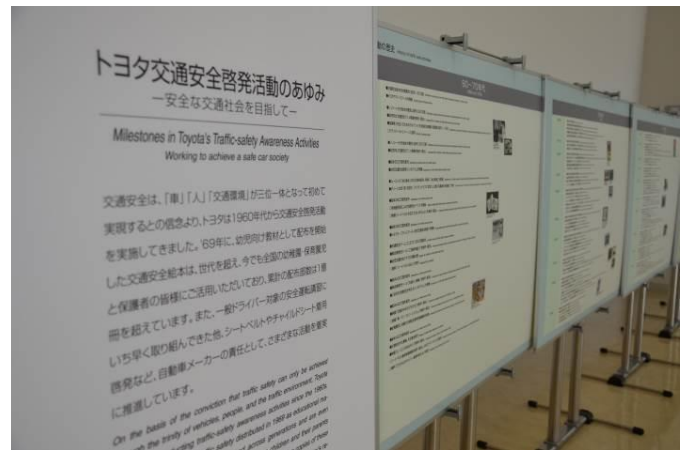
プリクラッシュセーフティシステム体験概要



体験車両



体験車車内



トヨタ自動車交通安全啓発活動のあゆみ